

# 沖縄県さとうきび農業機械導入基本構想



令和6年2月6日

沖縄県農林水産部 糖業農産課

はじめに

さとうきび作を巡る環境は、農業従事者の高齢化、後継者不足が急速に進展するなか、省力化及び低コスト化に向けた機械化が進み、近年では収穫面積、生産量ともに維持している。

沖縄県においては、令和元年8月に「沖縄県さとうきび収穫機械導入基本構想」を策定し、これまでさとうきび収穫機械の導入・普及を図りつつ、地域の実情に応じたさとうきび収穫作業の体系づくりを計画的に推進し、令和4/5年期には、ハーベスタ収穫率は約84.5%に達したところである。

近年では、急速な労働力不足に加えて資材や燃料の高騰に直面しており、これらの課題に対応するため、スマート農業をはじめとした新機種の開発・導入に伴い、各地域の実情に即した機械化体系による担い手の確保及び省力化・規模拡大の推進が引き続き重要となっている。

このため、これまでのさとうきび収穫機械導入基本構想を見直し、新たにさとうきび作の機械化の方向性、省力化・低コスト化をより一層推進するとともに、各地域の今後の基本的な機械導入計画を策定することとした。

本書は機械収穫率が8割を超えた現状を踏まえ、収穫のみならず、栽培管理や植付等他の基幹作業にかかる機械化促進についても、県全体の推進の方向性を示した。

さとうきび・糖業関係機関・関係者の皆様が、沖縄県のさとうきび作の機械化の進展に向けて業務を推進する上で、本書を有効活用していただければ幸いである。

令和6年2月6日

沖縄県農林水産部長

# 目次

I さとうきび作の機械化体系について	2
1. さとうきび農業機械の現状と課題	2
2. トラクタの分類及び適応条件	4
3. 植付作業の方向性	5
4. 機械収穫後の主な栽培管理と方向性	7
5. オペレータの育成・確保、受託体制の整備等	7
6. 収穫作業の機械分類及び適応条件	8
7. 地域別機械収穫による現状と課題	14
8. さとうきびスマート農業技術導入の方向性	16
II 地域別さとうきび収穫機械導入基本計画	18

## I さとうきび作の機械化体系について

### 1. さとうきび農業機械の現状と課題

沖縄県においては、近年国庫補助事業等の活用によってハーベスタ（さい断式収穫機）の導入が進み、現在稼働台数498台、ハーベスタ収穫率（面積）84.5%となっている。いずれも、前回の基本構想策定時と比較して約1割増加しており、生産現場における収穫作業の機械化が着実に進展していると言える。

ハーベスタは、さとうきび作の労力軽減に大きく寄与しており、高齢化等によって担い手が減少を続ける中、生産体制の維持に今後とも不可欠である。

一方、機械収穫は、各種収穫ロス、株引き抜きその他、踏圧による土壌物理性の劣化等により、人力収穫に比べ収穫量は一般的に減少する。しかし、株出収量の低下は、収穫後の適正な管理によって抑えられるため、今後も、機械収穫後の株出管理技術の普及及び関連機械の導入を図っていく必要がある。

近年では、直進アシスト付きトラクタにより作業精度が向上し、生産・経営管理システムによる作業管理の効率化を図ることが可能となり、作業受託組織や生産法人を中心に導入されつつある。

また、収穫に次ぐ重労働である植付作業にかかる機械として、全茎苗を用いた全茎式プランタ、ハーベスタで採苗・調苗した苗を用いるビレットプランタ等がある。

これらの導入にあたっては、発芽率向上のため種苗専用のほ場を設置することと併せて、機械の特性を踏まえ、地域の実情を勘案して機種を選定する必要がある。

表：機械収穫後の主な株出管理

作業名	作業のねらい	作業機械
株揃え	収穫後、比較的深い部位の節位から萌芽するよう刈り株を一定の高さで切揃える	株出管理機 株揃え機等
心土破碎またはうね間の排水改善	機械作業により踏圧され形成された硬盤を、破碎して排水性や土壌物理性を改善し、根群の生長を促進する	プラソイラ ハーフソイラ スクープ等
根切中耕	土壌の膨軟化の他、古い根の切断により萌芽茎の新根発生を促す。併せて基肥を施用して下層土と肥料を混合すると萌芽茎の成長を促す	根切土中施肥機 中耕ロータリ ハーフソイラ等 小型トラクタ



図. さとうきびの機械化一貫体系

## 2. トラクタの分類及び適応条件

### (1) トラクタの類別区分

類別区分	I	II	III	IV
大きさ	22.1kW級 (25ps) ～ (34ps)	29.4kW (35ps) ～ 36.8kW (54ps)	44.1kW (55ps) ～ 58.8kW (84ps)	66.2kW (85ps) 以上
下限面積 (沖縄本島地域)	6ha	8ha	11ha	14ha
(大東・宮古・八重山地域)	7ha	9ha	15ha	19ha

※資料「沖縄県特定高性能農業機械導入計画(H30.3月)」参照

### (2) 類別区分の主な管理作業

区分	主な管理作業	主な作業機械
中・大型トラクタ (主にⅢ～Ⅳ)	耕起・整地、碎土、植付、 中耕、培土、株出管理	プラウ、プラソイラ、 ロータリ、中耕ロータリ、 植付機、株出管理機等
小型トラクタ	中耕、培土、株出管理 病害虫・除草防除、施肥	ロータリ、株出管理機、施肥機 小型ブームスプレーヤ等

肥培管理に使用するトラクタは、個人農家所有の小型トラクタ（10ps級）と、農作業受委託組織や生産法人による中・大型トラクタ（Ⅲ～Ⅳ）の2つに大きく分けられる。

今後、高齢化や労働力不足の課題解決に向けて、地域毎のさとうきび作における担い手状況を把握し、農作業受託組織や生産法人の育成を目的に大型トラクタを導入することで、さとうきび栽培管理の効率化および軽労化を図ることが、安定生産に向けてより重要になってくる。



ロータリ（左：大型トラクタ、右：小型トラクタ）

### 3. 植付作業の方向性

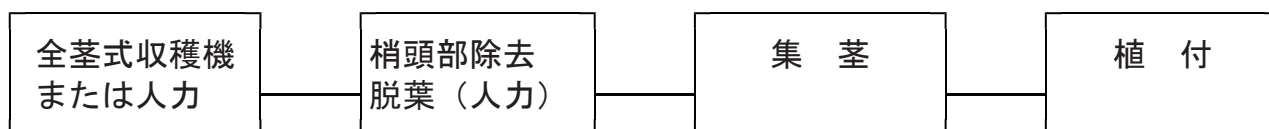
従来の植付作業は、人力による採苗・調苗作業及び植付作業が必要であり、大きな労働負担の上に、春植えは収穫や管理作業と時期が重なり管理の遅れを生じる場合がある。

これらの課題解決に向けて、「全茎式プランタ」と「ビレットプランタ」の普及拡大が進んでいる。全茎式プランタは、畝立て、調苗、覆土、施肥、粒剤散布作業が一連で行うことが可能で、2名体制により機械植付作業となる。ビレットプランタはハーベスタ苗を利用することで、採苗・調苗作業の省力化が可能となり、オペレータ1名でも植付作業を実施することができる。

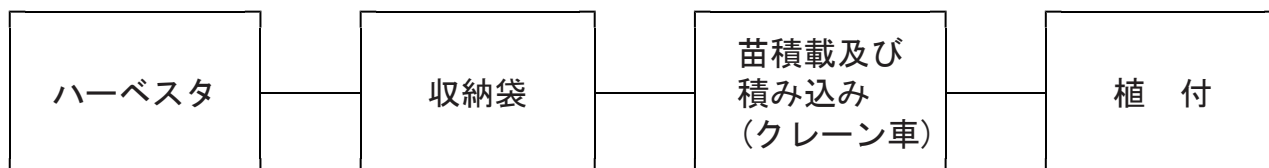
近年の労働力不足により、省力化と作業能率の向上を目的としたビレットプランタの導入が各地で高まりつつあるが、各植付機の特徴を理解し、地域毎にハーベスタ収穫率や投下可能な労働力を勘案し、植付け作業の機械化推進のために採苗圃の面積拡大も同時に図りながら、地域に適合する植付機を選択する必要がある。

#### 【作業フロー】

##### 全茎式プランタ



##### ビレットプランタ



全茎式プランタ



ビレットプランタ

【植付機の類別区分】

区分	畦幅 (目安)	苗 投入量	作業時間	適応する地域の 営農上の留意点
全茎式プランタ	120～ 140cm	612 kg/10a	採苗 158分/10a  植付 110分/10a	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆梢頭部除去と脱葉作業の人力が確保できること</li> <li>◆オペレーターと補助員計2名確保できること</li> </ul>
ビレットプランタ	130～ 150cm	815～1031 kg/10a	採苗 42分/10a  植付 51分/10a	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆省力化と発芽率向上のため、ハーベスタ種苗には倒伏が少なく健全芽の多いほ場か採苗圃の準備が望ましい。</li> <li>◆採苗後は1日以内の植付が望ましいため、植付ほ場の準備は先行または平行して実施する必要がある。</li> <li>◆クレーン車による苗積込み作業が必要となる。</li> <li>◆全茎式プランタに比べ、投下苗数が多いため、苗をより多く確保する必要がある。</li> <li>◆効率的な植付作業のために、枕地の確保が必要となる。</li> </ul>

※資料「ビレットプランター活用の手引き(R2.10月)」参照



#### 4. 機械収穫後の主な栽培管理と方向性

収穫後の適正な栽培管理を目的として、株揃え、施肥、根切り、農薬散布の作業工程が同時にできる「株出管理機」、土壌物理性の改善に「ハーフソイラ」及び根の伸長を促進する「中耕ロータリ（中耕ローター）」等が普及しており、単収及び株出管理の効率化に大きく寄与している。

さらに、ブロードキャスタ等による収穫後の堆肥散布やバガス等有機質資材の施用による土壌物理性を改善等、耕畜連携による資源循環型農業の取り組みは、生産力向上と持続性の両立を目指す「みどりの食料システム戦略」の一環でもあり、今後益々重要である。



株出管理機



中耕ロータリ

#### 5. オペレータの育成・確保、受託体制の整備等

収穫から植付及び株出管理までの適期管理は、来期の収穫量に大きな影響を及ぼす。現状の課題として、作業の競合によりオペレータが不足する地域もあることから、地域毎に必要なオペレータの育成・確保等、受託体制の整備を図る必要がある。

また、労働力不足が加速化する現状において、より効率的な作業を行うためには、直進アシスト機能付トラクタ利用による熟練オペレータ不足の解消や経営・生産管理システムを活用した作業受託の効率化などスマート農業技術の導入も考えられる。



オペレータ技術向上研修



スマート農業体験会（直進アシスト）

## 6. 収穫作業の機械分類及び適応条件

### (1) さとうきび収穫機械（ケーンハーベスタ）の類別区分

類別区分	I 類	II 類			
	全 茎 式	さ い 断 式			
	刈 倒 型	小 型		中 型	大 型
	乗用型	II-1	II-2	II-3	II-4
大きさ	原動機の 定格出力 44.1kW (60ps) 以下	原動機の 定格出力 58.8kW (80ps) 未満  ※粗選式	原動機の 定格出力 58.8kW (80ps) ～ 95.6kW (130ps)	原動機の 定格出力 95.6kW (130ps) ～ 169.2kW (230ps)	原動機の 定格出力 169.2kW (230ps) 以上
適応畦幅	120 cm	120 cm	130 cm	140 cm	150 cm

※資料「沖縄県特定高性能農業機械導入計画(H30.3月)」参照

### (2) さとうきび収穫機械（ケーンハーベスタ）の下限面積

区 分	I	II			
	全 茎 式	さ い 断 式			
	刈 倒 型	小 型		中 型	大 型
	乗用型	II-1	II-2	II-3	II-4
県内全域	3.8 ha	9.6 ha	13.8 ha	21.3 ha	22.6 ha

※資料「沖縄県特定高性能農業機械導入計画(H30.3月)」参照



小型ハーベスタ（II-2）



中型ハーベスタ（II-3）

### (3) さとうきび収穫作業の適応条件

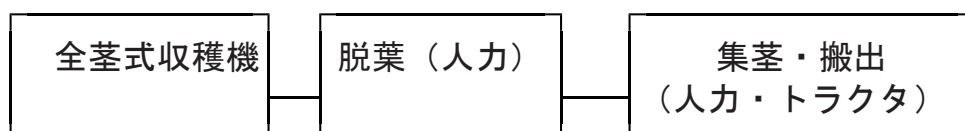
さとうきび収穫作業の機械化体系は、収穫機械の種類や地域の状況等を考慮し、多様に導入されてきた。

ここでは、現在、普及・定着している収穫機械を中心に、各機種 of 収穫機械の能力・機能等による適応条件を示した。

#### ① I 類 全茎式収穫機（刈倒機）

機関出力44.1kW(60ps)以下の専用機で、収穫茎を畦に平行に放出する機構を備えている。

【作業フロー】



#### 前提条件

- ①全茎式刈倒機使用後の脱葉、集茎できる人材が確保できること。（梢頭部を事前に除去する場合はその体制も必要）
- ②無脱葉の場合は、製糖工場に集中脱葉施設等が整備されていることが望ましい。

#### 留意点

- ①機関出力が小さいため、倒伏茎などは刈り取り不可であり、適応範囲が制限される。
- ②収穫作業の一部で人力を要するため、作業班など収穫体制の構築が必要である。
- ③令和5年現在、製造中止となっている。



全茎式収穫機（刈倒機）

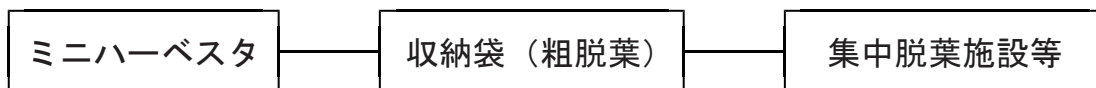
## ② II類 さい断式収穫機

### ・ II-1 ミニハーベスタ（小型粗選式収穫機）

機関出力58.8kW(80ps)未満のさい断式収穫専用機。

機関出力、機体重量を抑えるため、風力選別用ファン（ブローア一部）も小さい。

#### 【作業フロー】



#### 前提条件

- ①製糖工場に集中脱葉施設等が整備されていることが望ましい。

#### 期待される点

- ①ほ場接地圧が低いため、少量の降雨や湿地条件下でも稼働が可能で、次期株出栽培への影響が少ない。
- ②枕地面積を小さくすることができる。

#### 留意点

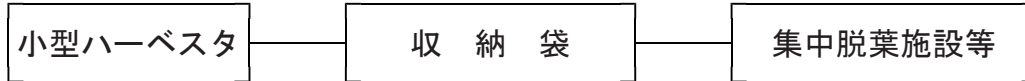
- ①機関出力が小さいため、単収が高い場合や倒伏茎などは刈取り不可であり、適応範囲が制限される。
- ②粗選式のため、トラッシュ率が高くなる。
- ③目視等により、補助員の安全を確認すること。



ミニハーベスタ

- ・ II-2 小型ハーベスタ（小型収穫機）  
 機関出力58.8kW(80ps)～95.6kW(130ps)未満のさい断式収穫専用機。  
 風力選別用ファン（ブローア一部）を備えている。

【作業フロー】



前提条件

- ①導入地域は、ある程度基盤整備（ほ場区画整理）されていること。
- ②ほ場の畦幅が130cm以上あること。
- ③製糖工場に集中脱葉施設等が整備されていることが望ましい。

期待される点

- ①ほ場接地圧が低いため、少量の降雨や湿地条件下でも稼働が可能で、次期株出栽培への影響が少ない。

留意点

- ①機関出力が小さいため、単収が高い場合や倒伏茎などは刈り取り困難な場合があり、適応範囲が制限される場合がある。
- ②根塊、土砂、礫等のトラッシュが混入する。
- ③バックモニターや目視により、補助員の安全を確認すること。



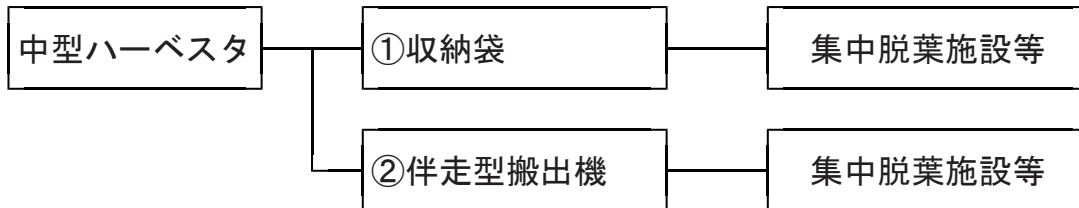
小型ハーベスタ



収納袋

- ・ II-3 中型ハーベスタ（中型収穫機）  
 機関出力95.6kW(130ps)～169.2kW(230ps)未満のさい断式収穫専用機。  
 風力選別用ファン（ブローア一部）を備えている。

【作業フロー】



前提条件

- ①導入地域は、ある程度基盤整備（ほ場区画整理）されていること。
- ②ほ場の畦幅が130cm以上あること。
- ③製糖工場に集中脱葉施設等が整備されていることが望ましい。

期待される点

- ①ほ場接地圧が低いため、少量の降雨や湿地条件下でも稼働が可能で、次期株出栽培への影響が少ない。

留意点

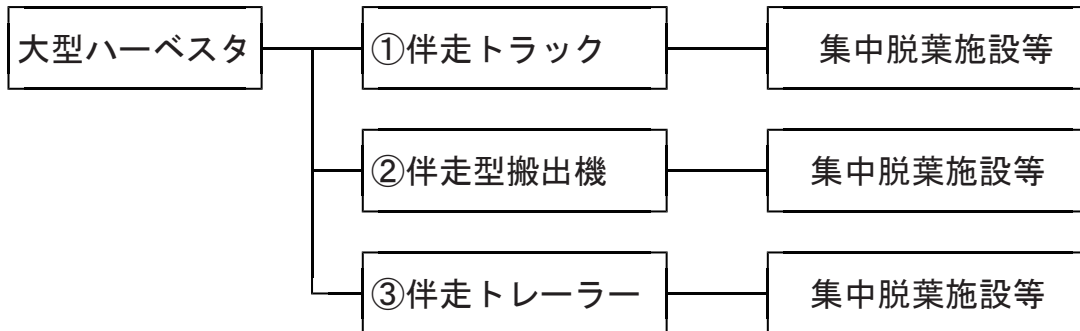
- ①機関出力が小さいため、単収が高い場合や倒伏茎などは刈り取り困難な場合があり、適応範囲が制限される場合がある。
- ②根塊、土砂、礫等のトラッシュが混入する。
- ③バックモニターや目視により補助員の安全を確認すること。



中型ハーベスタ

- ・ II-4 大型ハーベスタ（大型収穫機）  
 機関出力169.2kW(230ps)以上のさい断式収穫専用機。  
 風力選別用ファン（ブローア一部）を備えている。

【作業フロー】



前提条件

- ①導入地域は、基盤整備（ほ場区画整理）されていること。
- ②ほ場の畦幅が150cm以上あること。
- ③製糖工場に集中脱葉施設等が整備されていることが望ましい。

期待される点

- ①機関出力が大きいため、単収が高い場合や倒伏茎などの収穫も可能であり、適応範囲が広い。
- ②ほ場の区画規模が大きい地域において、効率的な収穫作業が期待できる。

留意点

- ①収穫機械及び伴走車のほ場接地圧が非常に大きく、土壌踏圧による硬盤層を形成し易いことから、次期株出栽培への影響が懸念される。
- ②雨天時・降雨後の稼働が極めて困難である。
- ③根塊、土砂、礫等のトラッシュが混入する。



大型ハーベスタ + 伴走トラック

## 7. 地域別機械収穫による現状と課題

### (1) 北部本島地域

本地域は、生産者の高齢化、担い手不足が進展しており、小型ハーベスタの導入による収穫作業の機械化が進展している。

今後、さとうきび生産性の向上に向け、小型ハーベスタを中心とした機械化体系を維持・拡充し、生産法人など作業受託組織の育成及び組織化を図る必要がある。

### (2) 北部離島地域

本地域は、生産者の高齢化、担い手不足が進展しており、小型ハーベスタの導入による収穫作業の機械化が進展している。

伊是名村、伊平屋村及び伊江村においては、集中脱葉施設等の前処理施設が整備されており、本施設と連携した収穫作業の機械化体系を推進する必要がある。

### (3) 中南部本島地域

本地域は、那覇市、沖縄市等の都市部を抱え、急速な都市化の進展や、他作物への転換、他産業への労働力の流出による後継者不足等により耕作放棄地が増加するとともに、収穫作業の機械化も遅れている。

当該地域は、小規模ほ場が多いことから、小型ハーベスタによる機械化体系の導入を推進する必要がある。

### (4) 南部離島地域

本地域は、比較的経営規模が大きく、中型・大型機械化体系が定着している南・北大東村、生産法人の設立により一定程度機械化が進展しつつある久米島町、近年収穫作業の機械化が進んでいる粟国村からなり、生産者の高齢化、担い手不足による労働力不足が進展している。

南・北大東村においては、中型・大型ハーベスタによる収穫作業の機械化体系を維持・拡充する必要がある。

久米島町においては、小型ハーベスタの導入を中心とした生産法人等による作業受託体制の強化を図る必要がある。

粟国村においては、小型収穫機体系への転換に伴い、機械収穫を前提とした栽培管理技術等の普及を図る必要がある。

### (5) 宮古本島地域

本地域は、生産者の高齢化の進展にともない、近年、生産法人の設立に併せ、小型収穫機の導入が急速に図られ、収穫作業の機械化体系の構築が進んだ地域である。

特に、ハーベスター運営協議会を設立し、効率的・組織的な収穫作業の機械化体系の確立に向け取り組んでいる。

今後とも、小型収穫機を中心とした収穫作業の機械化体系を推進していくとともに、収量の高い地域等は中型ハーベスタの導入を検討し、機械収穫を前提とした栽培管理技術等の普及を図る必要がある。



(6) 宮古離島地域

本地域（多良間村）は、宮古本島地域と同様、近年、収穫の機械化が進展した地域である。

含みつ糖の品質向上を図る必要があることから、今後とも、前処理施設と連携した機械化体系を推進する必要がある。

(7) 八重山本島地域

本地域（石垣市）は、さとうきび作の経営規模が比較的大きく、県内でも早くから中型収穫機を積極的に導入し、収穫作業の機械化体系を定着させてきた地域である。

当該地域においては、引き続き、既存の中型収穫機体系の維持・拡大を図りつつ、機械収穫を前提とした栽培管理技術等の定着を図る必要がある。

(8) 八重山離島地域

本地域は、生産者の高齢化、担い手不足が進む離島で、ほ場規模が比較的大きいものの、含みつ糖地域であることから、製品の品質向上等を図るため、小型及び中型ハーベスタを中心とした収穫作業の機械化が進展しつつある。

同地域は、規模、土壌など多様な離島から構成され、各地域の実情に即した生産法人など作業受託組織の育成・組織化や、収穫作業の機械化体系を引き続き推進する。

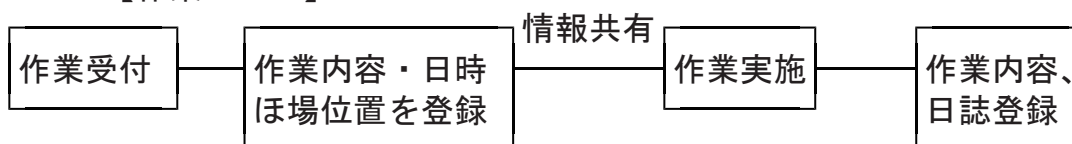
## 8. さとうきびスマート農業技術導入の方向性

本県のさとうきび作は、他品目と同様に農業従事者の高齢化、労働力不足の課題が顕著となっており、日々進展するスマート農業技術の導入等による機械化一貫作業体系の促進・強化の進展を図ることで、省力化や経験年数に左右されない高精度の作業性を担保し、先端技術の利活用を図る担い手の育成・確保及び生産法人等の規模拡大に向けた取組を推進する（詳しくは「さとうきび栽培におけるスマート農業実践の手引き」（令和5年3月、糖業農産課）も参照ください）。

### （1）経営・生産管理システム

本システムを活用することにより、これまで紙に記載していた作業計画や実績等の記録を、パソコンやスマートフォンを用いて作業管理の効率化を図ることが可能となる。近年では、作業受託組織や生産法人等を中心に利活用が進んでいる。

#### 【作業フロー】



#### 前提条件

- ①パソコンやスマートフォンを保有していること。
- ②通信環境が整備されていること。

#### 期待される点

- ①スタッフ間でほ場位置等の情報共有が容易。
- ②各ほ場の作業計画や作業記録等の管理が容易。
- ③他のスマート農業技術に比べて維持費用面のコストが低いため、導入のハードルが低い。

#### 留意点

- ①スタッフ間で活用方法の認識が一致していること。
- ②パソコン等の操作能力を一定程度有している必要がある。
- ③製品によって機能が異なるため、導入前の性能比較が必要である。



### 経営・生産管理システム

## (2) 直進アシスト機能付き（自動操舵システム付き）トラクタ

本県のさとうきび作においても、直進性や等間隔を補完する「直進アシスト機能」（自動操舵システム）付きトラクタが利用されつつあり、直線距離の長い大区画のほ場等における高精度の作業が担保されることで、作業者の負担軽減や経験豊富なオペレータ不足の解消に大きな期待が寄せられている。今後の本技術推進に向けては、各地区における研修会・実演会の開催や導入による利用効率等を検証するなどの取組を推進し、利活用を行う生産法人等のオペレータ育成を図る必要がある。

### 前提条件

- ①ある程度の基盤整備（ほ場区画整理）や農地の集積・集約化が図られていること。
- ②利活用を図る地域の通信環境が整備されていること。

### 期待される点

- ①畝の直進性、畝間の等間隔性による作業精度の向上。
- ②作業時間の短縮による利用効率の向上。
- ③オペレータの作業負担軽減。
- ④非熟練者でも精度の高い作業が可能。

### 留意点

- ①「直進アシスト機能」に関する操作性等の知見を深める。
- ②導入には投資を伴うため、費用対効果等を検討する必要がある。
- ③活用予定地域の通信環境・インフラ整備を事前に把握する。
- ④製品によって機能が異なるため、導入前の性能比較が必要である。



さとうきびスマート農業研修会（直進アシスト機能付きトラクタ操作）

II 地域別さとうきび収穫機械導入基本計画

1. 地域別さとうきび収穫機械化率（令和10年）

地区名	収穫面積 (ha)	ハーベスタ										(参考) R4/5年期 ハーベスタ 収穫率
		大型		中型		小型		計		ハーベスタ 収穫率		
		保有台数 (台)	収穫面積 (ha)	保有台数 (台)	収穫面積 (ha)	保有台数 (台)	収穫面積 (ha)	保有台数 (台)	収穫面積 (ha)			
北部計	1,362	—	—	—	—	69	1,248	69	1,248	92%	89.8%	
北部本島	773	—	—	—	—	37	694	37	694	90%	89.5%	
北部離島	589	—	—	—	—	32	554	32	554	94%	90.1%	
中部	497	—	—	—	—	33	349	33	349	70%	64.3%	
南部計	3,828	19	1,145	17	530	93	1,702	129	3,377	88%	80.3%	
南部本島	943	—	—	—	—	54	744	54	744	79%	56.9%	
南部離島	1,210	—	—	—	—	39	958	39	958	79%	74.4%	
南北大東島	1,675	19	1,145	17	530	—	—	36	1,675	100%	100.0%	
宮古計	5,811	—	—	30	999	172	4,402	202	5,401	93%	90.6%	
宮古島市	5,491	—	—	26	879	168	4,282	194	5,161	94%	91.6%	
多良間島	320	—	—	4	120	4	120	8	240	75%	73.8%	
八重山計	1,944	—	—	40	1,398	7	168	47	1,566	81%	75.3%	
石垣島	1,350	0	0	31	1,175	1	20	32	1,195	89%	88.8%	
八重山離島	594	—	—	9	223	6	148	15	371	62%	40.8%	
県計	13,442	19	1,145	87	2,927	374	7,869	480	11,941	89%	84.5%	

2. 地域別さとうきび収穫導入台数

地区名	大型ハーベスター					中型ハーベスター					小型ハーベスター					ハーベスター合計									
	R6	R7	R8	R9	R10	累計	R6	R7	R8	R9	R10	累計	R6	R7	R8	R9	R10	累計	R6	R7	R8	R9	R10	累計	
北部計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	7	5	4	3	25	6	7	5	4	3	25	
北部本島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	6	5	4	3	23	5	6	5	4	3	23	
北部離島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	1	1	-	-	-	2	
中部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	2	6	1	1	1	1	1	2	6
南部計	4	2	1	1	-	8	-	-	-	-	-	-	5	4	3	2	2	16	9	6	4	3	2	24	
南部本島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	2	1	1	10	4	2	2	1	1	10	
南部離島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	1	1	1	6	1	2	1	1	1	6	
南北大東島	4	2	1	1	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	1	1	-	8	
宮古計	-	-	-	-	-	-	1	2	4	5	5	17	10	9	8	7	6	40	11	11	12	12	11	57	
宮古島市	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	15	10	9	8	7	6	40	11	11	11	11	11	55	
多良間島	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	
八重山計	-	-	-	-	-	-	4	3	3	2	3	15	1	-	-	-	-	1	5	3	3	2	3	16	
石垣島	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	2	10	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	2	10	
八重山離島	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	1	5	1	-	-	-	-	1	3	1	1	-	1	6	
県計	4	2	1	1	-	8	5	5	7	7	8	32	23	21	17	14	13	88	32	28	25	22	21	128	

3. 地域別さとうきび作業機械導入台数

地区名	トラクタ					株出管理機					植付機(全茎式)					植付機(ビレット°ランター)				
	R6	R7	R8	R9	R10	累計	R6	R7	R8	R9	R10	累計	R6	R7	R8	R9	R10	累計		
北部計	—	1	2	—	—	3	—	1	2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	6	
北部本島	—	1	—	—	—	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	
北部離島	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	6	
中部	—	—	2	1	1	4	—	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—	—	1	
南部計	11	1	2	1	1	16	1	3	2	—	—	6	4	—	—	—	—	—	2	
南部本島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
南部離島	8	—	—	—	—	8	—	1	—	—	—	1	4	—	—	—	—	—	—	
南北大東島	3	1	2	1	1	8	1	2	2	—	—	5	—	—	—	—	—	—	2	
宮古計	10	10	10	10	10	50	3	3	4	4	4	18	4	4	4	4	4	20	33	
宮古島市	10	10	10	10	10	50	3	3	3	3	3	15	4	4	4	4	4	20	30	
多良間島	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	3	—	—	—	—	—	—	3	
八重山計	2	3	2	1	1	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	
石垣島	1	2	1	1	1	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	
八重山離島	1	1	1	—	—	3	4	3	—	—	—	7	—	—	—	—	—	—	3	
県計	23	15	18	13	13	82	4	7	9	5	5	30	8	4	5	4	4	25	59	